

第 9 回「血漿分画製剤の製造体制の在り方に関する検討会」議事要旨（案）

日 時 平成 17 年 12 月 21 日（水） 10：00～12：00
場 所 霞ヶ関東京會館 35F 「シルバースタールーム」
出席者 森寫座長、
青木、池田、大平、白幡、田島、中村、沼田、花井、伴野、溝口、
宮本各委員、（欠席：小幡、高松、田中、真崎、三星各委員）
（事務局）
関血液対策課長、植村血液対策企画官、岡村需給専門官 他

議 題

- 1 前回議事要旨の確認
- 2 血液事業の動向について
- 3 検討会の今後の進め方について
- 4 その他

議事概要

<血液事業の動向について>

- ・事務局より、アルブミン製剤と免疫グロブリン製剤の供給量と自給率等の資料が報告された。
- ・血液事業部会運営委員会に日本赤十字社が提出した「血液事業運営の当面の方針について」の資料が事務局より報告された。

<「アルブミン製剤及び免疫グロブリン製剤の国内自給推進のための方策に関するワーキンググループ」の設置について>

- ・検討会の今後の進め方として、本検討会の下に「アルブミン製剤及び免疫グロブリン製剤の国内自給推進のための方策に関するワーキンググループ」を設置し、当面の課題である「アルブミン製剤」及び「免疫グロブリン製剤」の国内自給推進のための方策を専門的に検討し、本検討会に報告することが了承された。
- ・当ワーキンググループのメンバーは 5 人程度とし、その人選は森寫座長に一任することです承された。
- ・次回は、当ワーキンググループからの報告を受けた上で、検討することとされた。